

どの学年、どの教科でもすぐに使える

「子どもの読み解く力」を育成する 授業改善の13のアイデア

子どもの読み解く力育成事業

リーディングスキルプロジェクトチーム

① 教科書を正確に読む

「教科書は読めて当たり前」という「思い込み」を改めました

- 内容に関する質問について、
書かれていることを一緒に確認する
- 指示語が何を示しているか、一緒に考える
- 教材文を短くして、少しずつ確認させる

もしかして読めていないかも・・・を
大切にしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・文章を正確に読むことができると、未知の言葉を獲得できます。さらに、獲得した言葉を、既知の知識の中に正しく位置付けることができ、確かな理解につながります。

② 文の組み立てを意識する

文の構造を把握することで、長文でも読解できることを体感させました

- 主語、述語は何かを確認させる
- 長文の内容と出題されている問題文をペアで比較させる

学年が上がっても、あえて文法の基本を大切にしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・ 文の情報量が増えても、惑わされない読解力が身に付きます。
- ・ 主語や目的語が省略されている文も補完して読めるようになります。

③ 文から必要な情報を正確に抜き出す

「問題文までは理解できているに違いない」「指導はそこから先」という「思い込み」を改めました

○文の区切りを意識して音読させ、
どこまでがまとまりかを考えさせる

○文の大切な情報を丸で囲ませ、
どこを囲んだかを一緒に確認する

もしかして分かっていないかも・・・を
大切にしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・文章を正しく読むための方略（例：主語を確かめる、線を引く、記号を付ける等）が、読むことが得意な子供だけでなく、どの子供にも身に付きます。
- ・自分でも意識していない「実はよく分からない部分」を明らかにして理解を深めることにつながります。

④ 定義を再確認する

「定義」が表面的な理解になっているのではないかと考え、丁寧に扱いました。

- 定義について、友達に説明させ、
伝わらなかった部分を互いに確認させる
- 関係（「道のり、速さ、時間」「円の半径、
面積」等）を書き出してから取り組ませる

子どもの主観的判断を定義に
もち込まない指導を大切にしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・ 定義を使って書いてあることをチェックする「プログラミング的思考」の基盤が養われます。
- ・ 正確な語彙を獲得することができます。

⑤ 適切か考え直す

書いたものが適切かどうか検討する活動を大切にしました

- キーワードを使ってまとめさせる
- 生徒自身が書いたものと模範となるもの（解答、他の生徒のもの）を比較させて、違いを見付けさせる

テストの記述式の問題の解答を正答例とじっくり比べることも大切にしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・伝えたいことがちゃんと伝わるのか、伝わらなかったとしたら何が足りないのか、何が余計だったのかを考える力が身に付きます。

⑥ 段落の役割を意識して書く

書けないのは、見通しがもてていないからではと考え、書く材料や順序、書き方等、個に応じたヒントを示しました

- 質問(5w)に答える形式でメモをつくらせる
- モデルとなる文章が書かれているワークシートで、穴埋めを書かせる
- よく似たテーマで、部分的に内容を変えて書かせる

伝えたいこと、聞きたいこと、知りたいことへ注目することを大切にしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・考えを言葉に表し文字として残すことで、間違いを正したり表現や考えの筋道を見直したりする力が身に付きます。
- ・文を読むときや人の話を聞くとときに、情報を整理し、その情報から自分で考えたり判断をしたりする力が高まります。

⑦ あいまいな表現を具体的にする

分からない言葉を辞書やインターネットで調べさせるようにしました

- 分からない言葉は辞書で調べ、
文の内容を理解させる
- 特にイメージしにくい言葉は
インターネットで検索して映像で確認させる

分からない言葉をすぐに調べる習慣を大切にしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・ 正確かつ的確なコミュニケーション能力を養うことができます。
- ・ 文と図等（非言語情報）を正しく対応付けられるようになります。

⑧ 文と図表を結び付ける

「資料は全員が同じように読み取っているはずだ」という「思い込み」を改めました

- 作図や現象をアニメーション機能で示し、動画と言葉を対応させながら説明させる
- 表やグラフ等の資料を見せ、内容を正しく表している文を選ばせる
- タブレットで手本となる動きを確認させ、比較した自分たちの動きを言葉で説明し合う

映像と言葉をぴったり一致させる練習だね！



【こんな力が伸びる！】

- ・教科書のどの文章が、掲載されているどの図やグラフ等と対応しているかを明らかにすることができ、図表の効果を検証する力も身に付きます。
- ・文章で表したものを、より分かりやすい図表等に変換して表現する力が身に付きます。

⑨ アウトプットする

教師ではなく、「子どもが説明すること」を大切にしました

- 説明させる前に、用語の意味や定義を一緒に確認して、それらを使わせる
- キーワードや新しく学んだ言葉を必ず使って、まとめや振り返りを書かせる
- 辞書やインターネットで調べた言葉の意味を共有させる

正しく言葉を理解していないかも…と
立ち止まること大切にしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・定義に従って語彙を正確に獲得できるようになります。
- ・本当にそう言えるのかという妥当性を判断する力が身に付きます。

⑩ 絵や図で表す

一人一人に学びやすいスタイルや認知のタイプがあることを前提に、分かったことを整理しながら考えることを意識させました

- 指示語や代名詞、主語・述語は何かを確認しながら文を読み、簡単なマークを使って、状況の変化を描かせる
- 4コマ漫画に吹き出しや解説を書かせる

人の関係や時間の流れも確認できるね！



【こんな力が伸びる！】

- ・文章問題の問題文で想定している状況や条件、求めている答え等を意識しながら読み、問題解決のステップの見通しをもつことができるようになります。
- ・指示語が指している内容や、省略されている主語や目的語を意識して読む習慣化に繋がります。

⑪ 分かりやすく言いかえる

「分かっている」という思い込みを改め、どれだけ理解できているか確かめる活動を大切にしました

- 「具体的には？」と問いかけ、
イメージを広げさせる
- 「小さな子供にも分かるように」と投げかけ、
シンプルな表現をさせる
- 学習したことを利用した表現を考えさせる

分かったつもりさせないようにすることを
大切にしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・同義性を損なわずに、相手によって様々なバリエーションに言いかえる力が身に付きます。

⑫ 根拠を明確にする

思いや気持ちを表現する場と、論理的に考えを伝える場の違いを明確に意識しました

- フローチャート（ワークシート）を使ってメモをとり、考えと根拠を整理して繋げるとことを習慣化させる
- 「結論→理由・根拠→結論」の型で、スピーチや記事を書く時間を設定する

理由・根拠・・・事実や既習事項、既有経験、新しい知識

判断が「なんとなく」ではなくなってゆく面白さがあるね！



【こんな力が伸びる！】

- ・論理的に考えたり伝えたりする意識をもつことにより、見たことも経験したこともないことに対しても、自分で考えたり判断したりする力や自信が付きます。
- ・自分の考えと友達の考えとを比較し、共通点や相違点に意識を向けながら、自分の考えを広めたり深めたりすることができます。

⑬ 1つのことを別の言い方で表現する

見方や感じ方、捉え方が多様であることを、表現する方も受け取る方も再確認します

○スリーヒントゲームで、同じものをいろいろな観点から捉えて表現させる

- ・例 リンゴ・・・赤くて白い(色) 青森や長野で穫れる(産地)
サクサクして甘い(口当たりや味)

○立場や視点を変えて詩を作らせ、表現させる

- ・例 花の蜜を吸う蜂・・・花の視点、蜂の視点、
見ている人間の視点から

人によってイメージは違うことを認識できるようにしたんだね！



【こんな力が伸びる！】

- ・一つの事象に対して、多面的・多角的な表現を試みることで、意味を理解して用いることができる言葉が増えます。
- ・理解できる分野が広がると同時に、文章を読み取ったり自分が伝えたいことを的確に表現したりできることに繋がります。

【終わりに】

- ・1時間の授業だけ、特定の教科だけではなく、全ての教科・領域等の学習で、継続して取り組むことで大きな成果となる
- ・読み解く力の向上は手段であり、目的は「児童生徒の学力向上」とそのための「授業改善」

